



歯科用CT

予測の診療からより確実な診療へ

当グループでは基幹医院のイエスデンタルオフィスに歯科用CTスキャンを導入しています。この装置による診断で今までより確実性の高い診断や治療が可能になっています。高額な機器のため各院に設置することが難しく、わたなべ歯科、Weデンタルにご通院の方にはイエスデンタルオフィスまで撮影のためにご足労をおかすこととなりますが、従前はCT撮影のためだけに大学病院などに行っていたいた手間を格段に省くことができるようになりました。



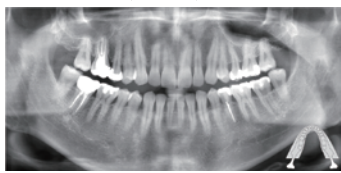
歯科治療はお口の中の外科治療

歯科治療は言うなれば、お口の中の外科治療であり、歯だけでなく、お口の周りの骨や筋肉、または神経や血管に対しても配慮が必要です。外からは見えないそれらの骨や神経などに対して、従来は位置や状態の「予測」をおこない治療方針を決めてきました。正しい予測のためには歯科医豊富な知識と経験が必要とされていたのですが、今や科学技術の発達によって見えない部分を限りなく可視化できる時代になったのです。その一翼を担うのがCTスキャンの技術なのです。



2次元から3次元へ 平面から立体へ 予測の診療から確実性の診療へ

レントゲン(X線)撮影は2次元の平面写真であるのに対して、CT撮影は立体的な3次元の情報となります。CT撮影では神経や血管の位置や骨の状態、病状の進行具合まで、さまざまな情報を、3D画像によって確認することができます。



従来のX線写真では「見えなかった」ものが見え、「分からなかった」ものが分かるようになり、より確実な診断や治療に役立ちます。

【レントゲン(X線)画像】



【CT画像】



歯科用CTスキャンで確実な診断が診療にもたらすメリット

●レントゲン撮影などでは見えない部分が見え病状の早期発見に役立ちます



●むし歯や歯周病の進行度が正確に把握でき、適切な治療に役立ちます



●歯の根の病気など、骨にまで及ぶもの、上顎洞との関係などを精密に見ることができます

●親知らず抜歯のときなど、骨や神経の場所や状態を正確に把握して、より安全な治療を始めることができます

●インプラント治療など歯や歯ぐき以外の部分に対しても十分な術前検査が正確にでき、正しい診断やリスクの予見につながります

